

複素関数論 (工学部、 火曜 1 限)

洞 彰人 (大学院多元数理科学研究科・理学部数理学科)

講義方針 シラバス中に教科書として挙げた

楠幸男著: *現代の古典 複素解析* (現代数学社)

にだいたい沿って進みますが、複素関数論の標準的な本なら、おおむね似かよった内容と順序でしょう。講義内容その他はシラバスに記したとおりです。成績評価方法は、中間・期末試験が主、宿題レポートが従です。

講義計画 必ずしも予定どおりに推移できるかどうかはわかりませんが、次のような計画を立てています。

- 4/13 複素数について
- 4/20 正則関数、コーシー・リーマンの方程式
- 4/27 複素級数と初等関数 (その 1)
- 5/11 複素級数と初等関数 (その 2)
- 5/18 コーシーの積分定理と積分公式 (その 1)
- 5/25 コーシーの積分定理と積分公式 (その 2)
- 6/01 中間試験または問題演習または休講
- 6/08 中間試験または問題演習
- 6/15 正則関数の基本性質 (その 1)
- 6/22 正則関数の基本性質 (その 2)
- 6/29 ローラン展開、孤立特異点
- 7/06 留数定理とその応用 (その 1)
- 7/13 留数定理とその応用 (その 2)
- 7/20 解析接続の初歩
- 7/27 期末試験

オフィスアワー 月曜 12:00 から 13:00、洞研究室 (理学部 A 館 4 階 439 号室) にて。研究室と講義室が離れていますので、講義直後の質問も好都合です。